起業を目指す？

早期退職の年齢、いつがいいの？

行列FP 林健太郎
By 林FP事務所

はじめに

- 終身雇用が崩壊するなか、早期退職も一般的になってきた
  - 昭和や平成初期は早期退職といえばアウトローだった（「**定年まで勤め上げるのが立派**」という価値観だった）
  - 今では普通の選択肢の一つ
- じゃぁ、一体どういう戦略で動けばいい？
  - ライフプランの活用
  - 早期退職の選択肢を吟味

©2020 林FP事務所

ライフプラン（FPなので簡単に）

収入		支出		
退職後の手取りx年数 年金総額 貯蓄 退職金	－	退職後の基本生活費 住居費 教育費 移動費 レジャー 家具家電 保険料 社会保険料等 介護費用 施設利用料 等	＝	プラスになるように！

- 退職年齢が若いほど厳しいプランになる傾向→あまりに厳しければ「定年起業」も視野に
- 甘い見通しは厳禁！
- 必要なら他の経験豊富なFPの力も借りて

©2020 林FP事務所

退職金

	希望退職制度	選択定年制度
年齢	40歳以上、45歳以上など年齢制限が設けられている	60～65歳の間などで選べる
退職の扱い	会社都合退職	自己都合退職
優遇条件	退職金に上乗せして、数ヶ月分の給与と同等の加算金がある	退職金の割増など

- 会社の制度をよく調べて、できるだけ有利に退職しよう
- 退職時の収入源については「脱サラ起業時のお金の工面方法」動画参照

©2020 林FP事務所

早期退職の年齢

まとめ

1. 早期退職を考えるには必ず「ライフプラン」を作って

2. 退職時の収入を総合的に考え、有利に退職しよう

3. 早期退職はあくまで手段。退職ありきでなく、人生を豊かに生きるための選択肢の一つととらえよう

©2020 林FP事務所

無料プレゼント中！

詳しくはこちら

▼　▼　▼

https://startup-fp.com/presentpdf

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所